

特別の教科 道徳



(1) 道徳の大切さ

なぜ、道徳の学習をするのか。

社会を構成する私たちが生きていく中で、色々な問題に出会うことがあります。その問題を乗り越えていくためには自分で考えたり、時には友達と協力したりしていく必要があります。また、きまりを守って生活することや良いことか悪いことか判断し、行動することも生きていくためには大切なことです。

道徳の学習では主に4つの視点があります。道徳の時間はその一つ一つについて、みんなで話し合ったり、自分の考えを聞いてもらったり、友達の考えを聞いたりすることで、自分はどうかしたらよいのかを深く考える時間なのです。みなさんが自立した一人の人間としてよりよく生きていこうとする態度を身に付けてほしいと思います。

・主として自分自身に関すること

「よいことと悪いことの区別をする、望ましい生活習慣を身に付ける、自分の特徴、長所に気付く、着実にやり抜く強い意志をもつ、工夫して生活をよりよくする」など

・主として人との関わりに関すること

「親切にする、礼儀正しくする、感謝をする、思いやりの心をもつ、互いに励まし合う、それぞれの個性や立場を尊重する」など

・主として集団や社会との関わりに関すること

「約束や社会のきまりを守る、家族の幸せを求めて進んで役に立つことをする、役割と責任を自覚し集団生活の充実に努める、郷土や国を愛しその発展に努める、他国の文化を理解し、国際親善に努める」など

・主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

「自然や動植物を大切にする、生命を大切にできる心をもつ、美しいものや気高いものに感動する心をもつ、人間の強さや気高さを理解し、生きる喜びを感じる」など

低学年	自分のやるべき勉強や仕事ができるようになり、友達と仲良くし、助け合うことや、理解する力もだんだん育ってくるとともに、やって良いことと悪いことの判断ができるようになります。生きることの素晴らしさを知り、自他の生命を大切にし、身近な自然に親しんだり、動植物に優しい心で接したりすることを大切にします。
中学年	自分の行為について自分で正しい判断をして、自信をもって行うことが大切な時期でもあります。相手を理解し、自分と異なる意見も大切にすることを学びます。また、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る態度を育てます。他国の人々や文化に親しみ、関心をもつことも大切です。
高学年	自律的に判断し、責任ある行動をすることが大切です。また、友達と互いに信頼し、学び合うことで友情を深め、人間関係を築いていくようになります。他国の人々や文化について理解し、国際平和に努めることも重要です。よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じ、未来への夢や希望を育むことができるように、子供自身が自分の理想とする考えを大切にしていきます。

(2) 授業では・・・考え議論する 多面的、多角的な思考を促します。

- ・登場人物や場面について想像する。
- ・自分のこれまでの体験をもとに、ねらいとする価値について考えさせる。
- ・これまでの体験や生活について振り返り、話し合い等を通して、ねらいとする価値を意識したり、気付くようにしたりする。

(3) ご家庭では・・・

子供たちが、よりよく生きる力や豊かな心を育てていくように学校と家庭とで一緒に考えていきましょう。ご家庭での「しつけ」を大事にするためにも道徳の学習について話題にする機会をもつとよいでしょう。